

【櫟本をめぐる】

《コース》 出発→大阪府奈良警察署櫟本分署跡→在原神社→馬つなぎ→歌塚 →和爾下神社→
柿本寺跡→赤土山古墳→東大寺山古墳→鬼子母神社→高塚公園(昼食)→和爾坐赤坂比古神社→
伝 山の辺の道 →天神社→サムライ街道→ 森神社→檜神社→櫟本駅



山辺の道に近い、石積み下見板張りの駅舎



サークル長点呼、コース説明、本日の案内担当27期



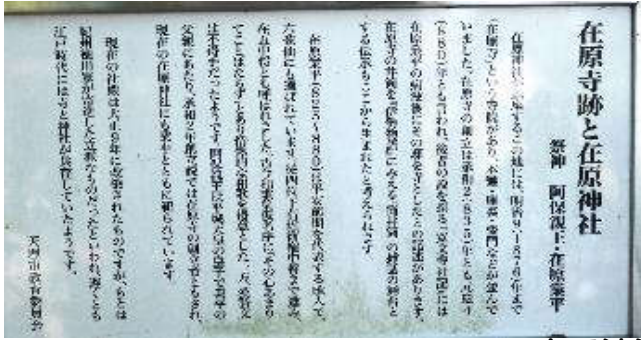
全員でストレッチ後出発



大阪府奈良警察署櫟本分署跡(天理教教祖中山みき様が留置された)



在原神社(在原寺跡)
ありはらじんじゃ・ありはらでらあと
在原神社ー在原業平と父を祀る神社ー
在原寺跡ー在原氏の氏寺ー



在原神社(在原寺跡)



拝殿



和爾下神社へ



馬をつないだ「馬つなぎ」



国道169号線前の和爾下神社鳥居へ



和爾下神社(わにしたじんじゃ)



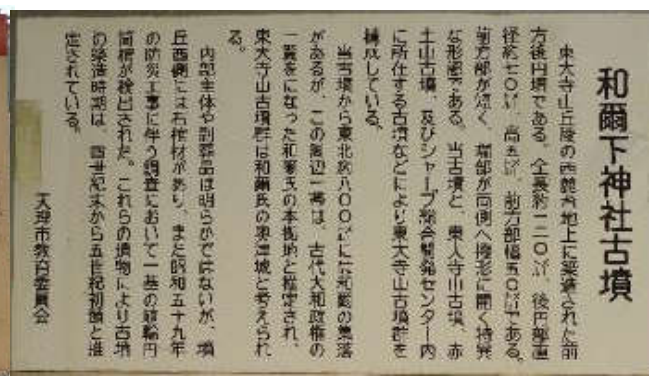
国道169号線前の鳥居



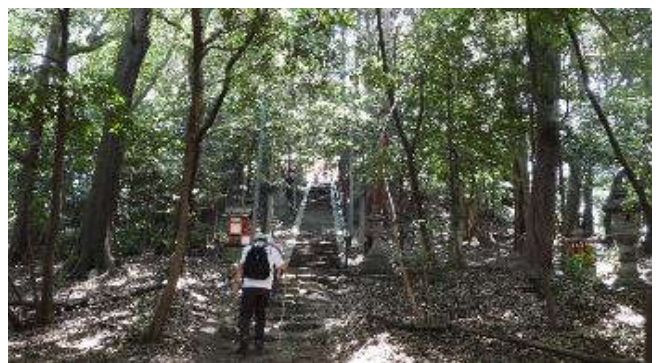
和爾下神社(わにしたじんじゃ) 参道



「柿本人麻呂の遺髪を葬ったという歌塚」



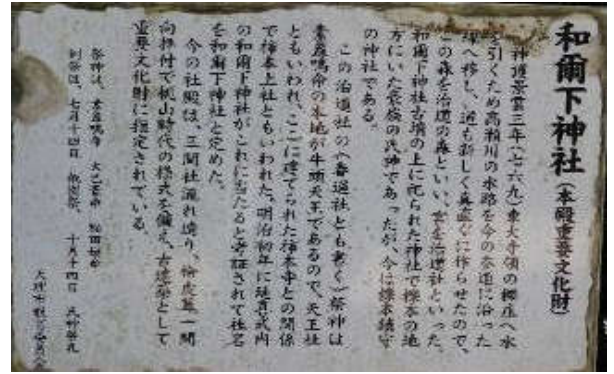
櫟本地域の鎮守で前方後円墳の上に建つ神社



急な階段の参道



後円部に建つ和爾下神社拝殿、本殿は、桁行三間、梁間二間、一重、切妻造、向拝一間、檜皮葺で桃山時代の様式



柿本寺 (しほんじ) は、名前の通り、柿本氏の氏寺です。柿本寺跡の看板が目印
奥には大きな石材 (逆さに置かれた石棺の蓋) が一つ。



ノウゼンカズラ



赤土山古墳 (あかつちやまこふん) 地震で崩れた前方後円墳



発掘調査の成果で復元された埴輪群、全長が約100mで、後円部は崩落のため約44×33mの隅丸方形を呈し、高さは約7.5m



古墳上部より二上山方面



古墳上部を歩く。「ワニ」氏の有力者の墓と考えらる



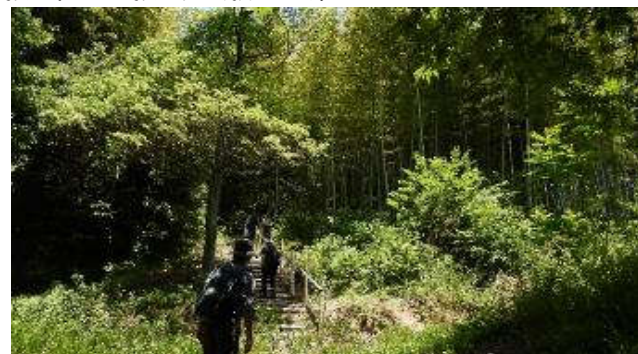
百合と蜂



東大寺山古墳へ



古墳への登り口と説明板（天理教城法大教会の敷地内）



中国の年号銘を象嵌した大刀が出土した古墳。古墳時代前期後半で、4世紀後半の前方後円墳で規模は全長約140m、後円部径約84m、高さ約10m、前方部幅50m、「ワニ」氏の有力者が葬られた古墳？



古墳の現状は竹林 埋葬施設跡は一段下がっています



鬼子母神



高塚公園（食事）



和爾坐赤坂比古神社（わににいますあかさかひこじんじゃ）



拝殿 ワニ氏を祀る神社



本殿は檜皮葺春日造り



和爾坐赤坂比古神社



和爾坐赤坂比古神社



天神社



天神社



天神社



サムライ街道



サムライ街道をそれる



森神社



ガンダム？ 足と胴体



櫛神社 (ならじんじゃ)



本殿『日本書紀』崇神天皇十年の条に出てくる、古い神社。



実増井(三枡井・みますい)の井筒



「五十狭芹彦(いさせりひこ) 神社」と呼ばれていた



櫟本駅に向かう

地図

